

弱溶剤系2液型エポキシ樹脂塗料

# 陶器瓦用プライマー

## 用途

陶器瓦（釉薬瓦）の改修用プライマー  
無釉瓦（素焼き瓦）へも適用可能

注) いぶし瓦、日本瓦には施工できません。

### 瓦の判別方法

(貫入\*の有無)

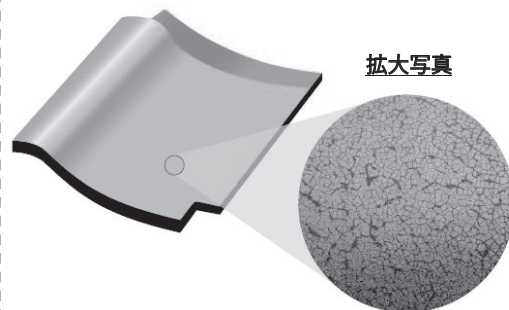
貫入が発生している瓦は陶器瓦で、塗装可能です。

(瓦裏面の色)

陶器瓦、および無釉瓦は、クリームからオレンジ色です。

いぶし瓦は、裏面も表面と同じいぶし銀から黒色です。

※貫入とは、陶器瓦特有の現象で、粘土と釉薬の収縮率の差により生じる陶器瓦表面に発生する細かいひび割れのこと。(写真参照)  
陶器瓦用プライマーは、貫入に対する目止め効果も兼ね備えています。



## 特長

- 陶器瓦に対する優れた密着性
- 貫入\*に対する目止め効果
- 各種弱溶剤系上塗りが塗装可能

## 適合上塗材

パワーシリコンマイルドⅡ、ルーフマイルドSi、バイオマスR-Si、  
ルーフマイルドU、デルニエX

### 適合素材

陶器瓦（釉薬瓦）  
無釉瓦（素焼き瓦）

注) いぶし瓦、日本瓦には  
施工できません。

陶器瓦用プライマー

### 適合上塗り材

- パワーシリコンマイルドⅡ
- ルーフマイルドSi
- バイオマスR-Si
- ルーフマイルドU
- デルニエX

## 塗膜性能

試験項目	評価方法	品質基準	評価結果
付着性	JIS K 5600-5-6	クロスカット法 4mm幅	分類 0
耐液体性	JIS K 5600-6-2	水道水浸せき法 23℃×30日間	異常なし
	JIS K 5600-6-2	飽和水酸化カルシウム水溶液 浸せき法 23℃×7日間	
	JIS K 5600-6-2	硫酸5%水溶液 浸せき法 23℃×7日間	

試験塗板：陶器瓦 乾燥条件：23℃×7日間放置

# 塗装仕様

## ●パワーシリコンマイルドⅡが上塗りの場合

工程	使用塗料	希釈割合	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗面積 (m <sup>2</sup> /セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔 (23℃)		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	塵あい、コケ、油脂類等は高圧洗浄機・ワイヤーブラシで除去し、乾燥した清浄な面とする。									
下塗り	陶器瓦用プライマー 主剤16kg 硬化剤2kg	0～1.5L (RMシンナー)	ハケ ローラー	1	0.14～0.16	113～129	4h以内	—	16h以上 10日以内	—
		1.5～2.5L (RMシンナー)	エアレス		0.21～0.23	78～86				
上塗り	パワーシリコンマイルドⅡ 主剤14kg 硬化剤2kg	2～4L (RMシンナー)	ハケ ローラー	2	0.1～0.12	67～80	5h以内	4h以上 10日以内	—	16h以上
		5～7L (RMシンナー)	エアレス		0.11～0.13	62～73				

※塗付量にシンナーは含まれていません。塗付量は条件により増減します。

# 荷 姿

●陶器瓦用プライマー・・・18kgセット (主剤16kg 硬化剤2kg)

●RMシンナー・・・・・・・16L 4L

(シンナーはA：春秋型、S：夏型、W：冬型、W速乾用があります。)

# 標準色

色名	日塗工色見本
グレー	N-70程度
ブラウン	09-40L程度

# 注意事項

各種上塗りの注意事項は、別途参照願います。

### 【仕様全般】

1. 降雨・降雪・強風が予想される時や高湿度（80%以上）・低気温（5℃以下）の場合は施工を避けてください。高湿度・低気温で塗装した場合、未乾燥状態で夜露などにあたると艶引けを起こすおそれがあります。
2. 塗装直後、降雨や結露等で白化した場合、目直しを行って再度塗装してください。
3. 塗装面のゴミやホコリ等は取り除いてください。
4. エアレス塗装の場合、塗料の飛散による汚染の可能性がありますので、必ず養生してください。
5. 塗装や塗料取り扱い時には、換気に気を付け火気厳禁としてください。また、溶剤中毒には充分ご注意ください。
6. シーリング面への塗装は、シーリング材の種類・使用条件により塗膜の汚染・剥離・収縮割れ等の不具合を起こすことがあるため、基本的には行わないでください。やむを得ず行う場合は、塗り重ね適合性を確認してから必ずノンブリードタイプをご使用ください。
7. 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質（VOC等）に過敏に反応される可能性がありますので、充分ご注意ください。
8. 塗装による臭気、近隣に迷惑を掛けることがありますので、十分に配慮をお願いします。
9. 製品の安全に関する詳細な内容については、製品安全データシート（SDS）をご参照ください。

### 【塗料に関する注意】

1. 使用前には充分攪拌してください。
2. 溶剤系塗料は、溶剤の影響により内圧が上がっている可能性がありますので、開栓時は充分ご注意ください。
3. 2液型塗料の主剤と硬化剤の混合は必ず規定の調割合で混合し、マーゼル等で充分攪拌してください。
4. 2液型塗料は、塗料ごとの可使時間内に塗装してください。また、気温が高い場合極端に可使時間が短くなりますので、手際よく塗装してください。
5. 小分けする場合は、充分攪拌して均一の状態にしてから行ってください。色浮き・色違いや硬化不良等の原因となります。
6. 市販の希釈用塗料シンナーには多種のシンナーがあり、適合しないものもありますので、必ずRMシンナーをご使用ください。
7. 溶剤系塗料に使用するハケ・ローラーは、溶剤系専用のものをご使用ください。
8. 溶剤系塗料に使用したハケ・ローラーの洗浄には、ラッカーシンナーまたはアクリルシンナーをご使用ください。
9. 2液型塗料は、硬化が不十分な場合、RMシンナーで再溶解する場合があります。
10. 2液型塗料は、主剤と硬化剤は別々に密栓し冷暗所に保管してください。また、開栓後は早目に使い切ってください。
11. 材料の保管・取り扱いは消防法・労働安全衛生法に基づき充分な管理をお願いします。



大阪市淀川区西三国4丁目3-90 TEL 06-6391-3151  
東京・北関東・中部・大阪・広島・福岡・札幌・仙台

カタログ記載の内容は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。